



# インテル® C++ コンパイラー 11.1 Linux\* OS 版 プロフェッショナル・エディション 入門ガイド

本ガイドでは、コマンドラインと IDE からコンパイラーを起動する方法、インテル® パフォーマンス・ライブラリーの使用方法、追加のユーザー・リファレンス情報のアクセス方法について説明します。

## 目次

1	概要.....	1
2	コマンドラインからのコンパイラーの起動.....	2
3	IDE からのコンパイラーの起動.....	3
4	インテル® パフォーマンス・ライブラリーの使用.....	3
5	ユーザー・リファレンス・ドキュメント.....	3
	著作権と商標について.....	5

## 1 概要

インテル® C++ コンパイラー 11.1 は、Linux\* オペレーティング・システムで C および C++ ソースファイルをコンパイルします。IA-32、インテル® 64、および IA-64 アーキテクチャーでサポートされています。

インテル® C++ コンパイラーは、コマンドウィンドウから、または Eclipse\* 統合開発環境内で実行できます (Eclipse のインストールと設定に関する詳細は、リリースノートを参照してください)。

インテル® C++ コンパイラー 11.1 Linux 版プロフェッショナル・エディションには、次のコンポーネントが含まれています。

- インテル® C++ コンパイラー
- インテル® スレッディング・ビルディング・ブロック



- インテル® インテグレートッド・パフォーマンス・プリミティブ
- インテル® マス・カーネル・ライブラリー
- インテル® デバッガー

---

**注:** Eclipse IDE 統合のインテル® デバッガーは、IA-32 アーキテクチャーとインテル® 64 アーキテクチャー上でのみ使用できます。

---

## 2 コマンドラインからのコンパイラーの起動

---

次のステップを実行してコンパイラーを起動します。

1. コマンドプロンプトを開きます。
2. コンパイラーの環境変数を設定します。
3. コンパイラーを起動します。

コンパイラーを起動する前に環境変数を設定する 1 つの方法として、“source” コマンドでコンパイラーの環境設定スクリプト `iccvars.sh` (または `iccvars.csh`) を実行する方法があります。

```
source <install-dir>/bin/iccvars.sh <arg>
```

環境スクリプトは、アーキテクチャーに基づいた引数を使用します。有効な引数は次のとおりです。

- `ia32`: IA-32 アーキテクチャー用のコンパイラーとライブラリーのみ。
- `intel64`: インテル® 64 アーキテクチャー用のコンパイラーとライブラリーのみ。
- `ia64`: IA-64 アーキテクチャー用のコンパイラーとライブラリーのみ。

C++ ソースファイルをコンパイルするには、次のコマンドを使用します。

```
icpc my_source_file.cpp
```

コンパイルが正常に終了すると、実行可能ファイル `a.out` が現在のディレクトリーに作成されます。



## 3 IDE からのコンパイラーの起動

---

システムに Eclipse をインストールして、インテル® C++ コンパイラーを使用するために設定する必要があります。

Eclipse でアプリケーションをコンパイルする方法に関する最新情報は、コンパイラー・ドキュメントの「アプリケーションのビルド」を参照してください。「Eclipse\* でのアプリケーションのビルド」セクションは、Eclipse でのインテル® C++ コンパイラーの設定と使用に関する詳細な情報を提供しています。

## 4 インテル® パフォーマンス・ライブラリーの使用

---

インテル® C++ コンパイラーには次のパフォーマンス・ライブラリーが含まれています。これらのライブラリーの使用方法については、各ライブラリーのドキュメントを参照してください。

パフォーマンス・ライブラリー	ドキュメント
インテル® スレディング・ビルディング・ブロック	インテル® スレディング・ビルディング・ブロック入門ガイド
インテル® インテグレートッド・パフォーマンス・プリミティブ	インテル® インテグレートッド・パフォーマンス・プリミティブ・インストール・ガイド
インテル® マス・カーネル・ライブラリー	インテル® マス・カーネル・ライブラリー・ユーザーズ・ガイド

## 5 ユーザー・リファレンス・ドキュメント

---

このガイドは、インテル® C++ コンパイラー・プロフェッショナル・エディションの基本機能を紹介しています。詳細な機能説明については、次の資料を参照してください。

### ドキュメントの場所

ドキュメントは、`/opt/intel/Compiler/11.1/xxx/Documentation/ja_JP/`ディレクトリーにあります。xxx は 3 桁のリビジョン番号です。すべてのコンポーネントをインストールすると、次のドキュメントを利用できます。



- インテル® C++ コンパイラー
- インテル® スレッディング・ビルディング・ブロック
- インテル® インテグレートッド・パフォーマンス・プリミティブ
- インテル® マス・カーネル・ライブラリー
- インテル® デバッガー
- リリースノート

---

**注:** リリースノートには、インテル® C++ コンパイラーのインストールについての情報が含まれています。

---

## 製品情報とテクニカルサポート

インテル® ソフトウェア製品およびサポート情報については、<http://www.intel.co.jp/jp/software/products/> を参照してください。このサイトでは、以下の包括的な製品情報を提供しています。

- ホワイトペーパーや技術資料などの技術的な情報を入手することができる、各製品へのリンク
- ユーザーフォーラムへのリンク
- ニュースおよびイベントへのリンク

テクニカルサポート情報の検索、製品の登録、インテルへの問い合わせは、<http://www.intel.com/software/products/support> (英語) にアクセスしてください。サポート情報についての詳細は、『リリースノート』の「テクニカルサポート」を参照してください。

ライセンスおよび登録方法についての詳細は、Web サイト <https://registrationcenter.intel.com/> を参照してください。



## 著作権と商標について

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責任を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、商適格性、あらゆる特許権、著作権、その他知的財産権の非侵害性への保証を含む) に関してもいかなる責任も負いません。

インテルによる書面での合意がない限り、インテル製品は、その欠陥や故障によって人身事故が発生するようなアプリケーションでの使用を想定した設計は行われていません。

インテル製品は、予告なく仕様や説明が変更されることがあります。機能または命令の一覧で「留保」または「未定義」と記されているものがありますが、その「機能が存在しない」あるいは「性質が留保付である」という状態を設計の前提にしないでください。これらの項目は、インテルが将来のために留保しているものです。インテルが将来これらの項目を定義したことにより、衝突が生じたり互換性が失われたりしても、インテルは一切責任を負いません。この情報は予告なく変更されることがあります。この情報だけに基づいて設計を最終的なものとししないでください。

本書で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

最新の仕様をご希望の場合や製品をご注文の場合は、お近くのインテルの営業所または販売代理店にお問い合わせください。

本書で紹介されている注文番号付きのドキュメントや、インテルのその他の資料を入手するには、1-800-548-4725 (アメリカ合衆国) までご連絡いただくか、インテルの Web サイトを参照してください。

インテル・プロセッサ・ナンバーはパフォーマンスの指標ではありません。プロセッサ・ナンバーは同一プロセッサ・ファミリー内の製品の機能を区別します。異なるプロセッサ・ファミリー間の機能の区別には用いられません。詳細については、[http://www.intel.co.jp/jp/products/processor\\_number/](http://www.intel.co.jp/jp/products/processor_number/) を参照してください。

Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

©2009 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。

Microsoft 製品のスクリーンショットは、Microsoft Corporation の許可を得て使用しています。